

とっとり弥生の王国シンポジウムとは

鳥取県には弥生時代の歴史を考える上でとても重要な遺跡がたくさんあります。中でも鳥取市青谷町にある「青谷上寺地遺跡」と米子市と西伯郡大山町にまたがる「妻木晩田遺跡」は、弥生時代を代表する遺跡として、国の史跡に指定されています。

鳥取県ではこの二つの遺跡を貴重な歴史文化遺産として活用し、「とっとり弥生の王国」として新たな価値を創造、情報を発信していきたいと考えています。そして青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡の調査研究を通じて、弥生時代の歴史や文化を学び、史跡の楽しみ方を追求する「とっとり弥生の王国シンポジウム」を企画しました。このシンポジウムで、たくさんの方々と一緒に、私たちの故郷「鳥取」の魅力を再発見できれば幸いです。

プログラム

第1回 とっとり弥生の王国シンポジウム 倭人の食卓 青谷上寺地遺跡と鳥取の食文化

日時 平成29年3月18日(土) 12:50~17:20 会場 県民ふれあい会館[ホール]

開会/12:50

オープニングアクト

子どもミュージカル
「真名井の水は天の水」 ミュージカル劇団ゆめ

記念講演/13:15~14:15

「倭食から和食へ」 五島 淑子(山口大学教育学部 教授)

食レポ/14:25~15:40(各約25分間)

- ①「倭人の食卓～弥生の精肉・鮮魚～」
北浦 弘人(鳥取県埋蔵文化財センター 青谷上寺地遺跡調査担当 課長補佐)
- ②「倭人の食卓～弥生の青果～」
佐々木 由香(とっとり弥生の王国調査整備活用委員会 調査研究部会 委員)
- ③「郷土いなばの食卓めぐり～食の知恵と工夫を学ぶ～」
谷阪 智佳子(新鳥取県史編さん民俗調査委員)

パネルディスカッション/15:50~17:20

「倭人の食卓」

パネリスト/五島 淑子・佐々木 由香・谷阪 智佳子・北浦 弘人
コーディネーター/濱田 竜彦(鳥取県埋蔵文化財センター 青谷上寺地遺跡調査担当 係長)

●ミュージカル劇団ゆめ

劇団ゆめは平成10年に「淀江町民ミュージカル」として誕生しました。そして平成15年、民間へ移行し、「ミュージカル劇団ゆめ」に改称。その後1年に1回の舞台を公演しています。

また「国民文化祭」「全国生涯学習フェスティバル」「鳥取県総合芸術祭(3回)」などにも出演。韓国でも公演を行いました。「米子市文化奨励賞」「日本海ふるさと大賞」などを受賞。鳥取県内のイベントで数多くのミュージカルを演じています。



もくじ

とっとり弥生の王国 倭人の食卓

2017 Spring

巻頭

04 「倭人の食卓」によせて
史跡の楽しみ方や
可能性を探る
濱田 竜彦

特集・倭人の食卓

10 倭食から和食へ
五島 淑子

16 倭人の食卓
弥生の精肉・鮮魚
北浦 弘人

20 倭人の食卓
弥生の青果
佐々木 由香

26 郷土いなばの食卓めぐり
—食の知恵と工夫を学ぶ—
谷阪 智佳子

my soul food

09 ① 青谷の郷土食
森 佳樹

24 ② 山口県周防大島の
茶がゆ
濱田 竜彦

25 ③ しもつかれ
君嶋 俊行

30 ④ 岩美と魚と私
高尾 浩司

column

15 米との出会い

29 倭人

○本誌は鳥取県埋蔵文化財センターが平成29年3月18日に開催した第1回とっとり弥生の王国シンポジウム「倭人の食卓 青谷上寺地遺跡と鳥取の食文化」のプログラム&パンフレットである。

企画・編集
濱田竜彦
鳥取県埋蔵文化財センター 青谷上寺地遺跡調査担当
〒689-0592 鳥取市青谷町青谷667青谷町総合支所2階
TEL 0857-85-5011

編集・デザイン
株式会社シセイ堂デザイン

本誌作成協力
株式会社新日本海新聞社、とっとりアニメーション実行委員会、鳥取市教育委員会青谷町分室、鳥取市青谷町総合支所、鳥取県商工労働部兼農林水産部市場開拓局食のみやこ推進課、県民ふれあい会館、鳥取県立むきばんだ史跡公園